



きん  
**金は どうやってできたの**

きん こうせき  
**金は 鉱石の 1つ**

ちきゅう がんせき なか ひと やく た こうぶつ おお がんせき  
地球の岩石の中には、人の役に立つ鉱物を多くふくんだものがあり、このような岩石を  
こうせき こうせき なか てつ どう なり きんぞく  
鉱石といいます。この鉱石の中には、鉄や銅、鉛などの金属がふくまれているものがあり  
きん  
金もその1つなのです。

きん ひとびと あだ もと ふる りよう こうか きんぞく さいく  
金は、人々の間で最も古くから利用されてきた高価な金属で、やわらかく、細工がしや  
とく  
すく、さびない特ちょうをもっています。

きん きんこうしょう  
**金は 金鉱床から**

かざんかつどう お やま ちか まわ まわ がんせき  
火山活動が起こっている山で、地下のマグマだまりの周りで、マグマや周りの岩石から  
きん と だ むす ちか なが こ ちかすい  
金が飛び出してイオウと結びつきます。これが、近くに流れ込んできた地下水にとけこみ  
ちかすい ねっ ちようちか しょう ちかすい  
ます。地下水はマグマで熱せられて、地表近くまで上しょうします。ここで、金と結びつ  
いていたイオウはガスとなって吹き出し、金の残った金鉱床ができてあがるのです。

きん だ こうざん ちか あな すす きんこうしょう きん げんせき  
金をほり出す鉱山では、地下に穴をほり進め、金鉱床にふくまれている金の原石をほり  
だ きん つく  
出し、金を作るのです。

きん たいよう ばいじょうおも こうせい いっしょう さいご だいばくはつ お  
また、金そのものは、太陽より3倍以上重い恒星がその一生の最後に大爆発を起こした  
かくゆうごうはんのう つく  
ときに、核融合反応により作られます。(監修 国司 真)

